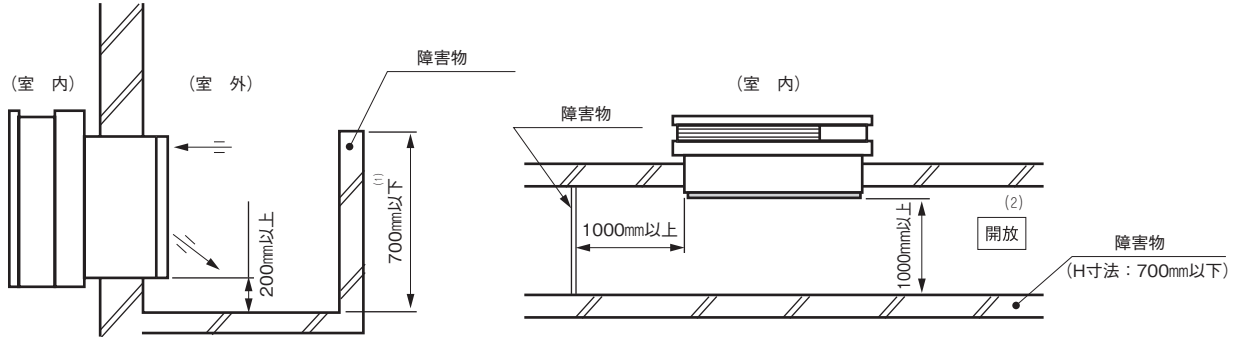


2.7 据付関連事項

(1) 据付スペース (適用機種：WT, WT-U)

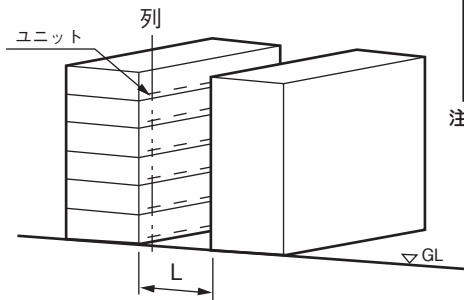
室内側・室外側でショートサーキット等を防止するため下図のスペースを確保してください。(スペースが確保できない場合は、計画時に弊社にお問い合わせください)

(a) 室外側



注(1) 手すり、金網等の通風の障害とならない構造物の高さを含みません。(2) ユニットを併設する場合は3m以上としてください。

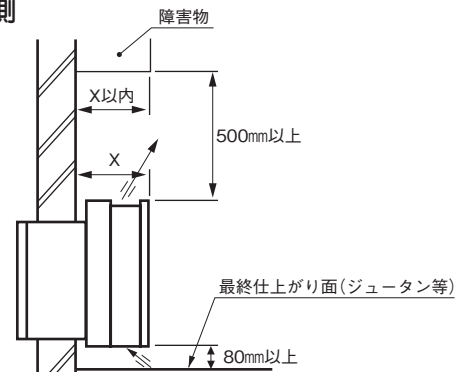
複数台設置の必要隣接距離



列	L (隣接距離)
4列以下	3m以上
5列以上	5m以上

注(1) 建物は10階以下でベランダ無しとします。
ユニットは10列以下とします。

(b) 室内側

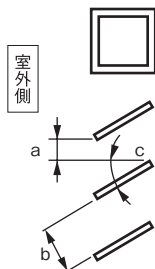


注(1) X寸法は、建物及び現場により異なります。

(2) (室外側) ガラリの選定基準 (適用機種：WT-U)

ウォールスルータイプ (窓サッシ形) でガラリを現地で製作される場合は、風量確保・ショートサーキット防止のため形状及び抵抗値を下記の範囲内になるようにしてください。

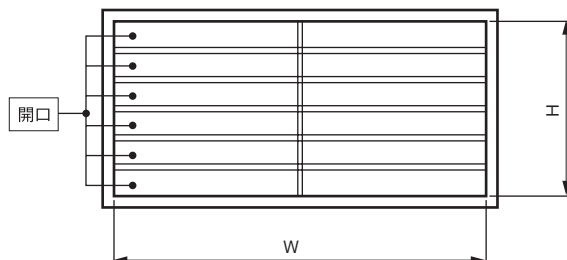
(a) ガラリの抵抗値 (P25 タイプは 30Pa, P36 タイプは 50Pa 以下としてください。)



▶ 自由面積比 = $\frac{b \times W \times n}{W \times H} \geq 0.6$
(開口率)

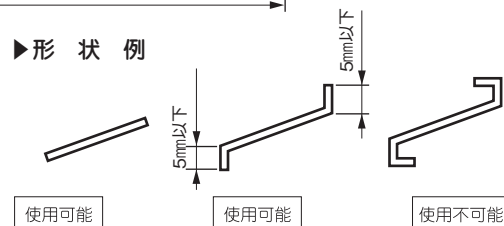
▶ 投影開口率 = $\frac{a \times W \times n}{W \times H} \geq 0$

注(1) nは開口部を示します。



▶ ガラリ角度 = C
吹出部 30° 以下
吸込部 30° 以下

▶ 形状例



(3) 据付工事手順

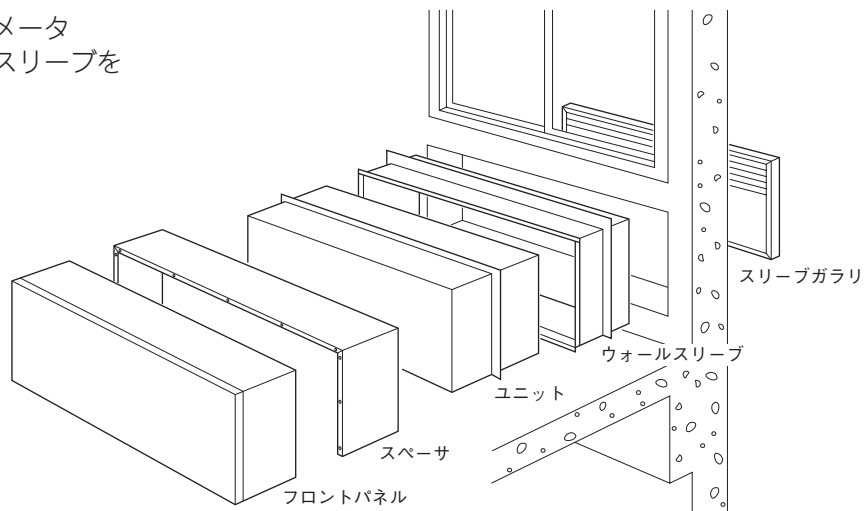
(a) ウォールスルータイプ（壁埋込形）

(i) ユニット・部品

- ① **ユニット**：WTP254HK, 364HK, 254H, 364H, 254HKF, 364HKF, 254HF, 364HF
- ② **オプション部品**：フロントパネル, ウォールスリーブ, スリーブガラー
- ③ **客先手配**：スペーサ

(ii) 据付の概要

ウォールスルータイプはペリメータの窓下腰掛部に開口を設け、スリーブを埋込み本体を組み込みます。



(iii) 据付手順

① ウォールスリーブの取付け

ウォールスリーブは弊社のオプション部品を使用し木枠等による施工は絶対行わないでください。

	<p>① ウォールスリーブ（ドレン前抜き用）</p>
<p>② 箱入れ</p>	<p>② コンクリート打ち込み時、下記寸法の箱入れを行います。</p>

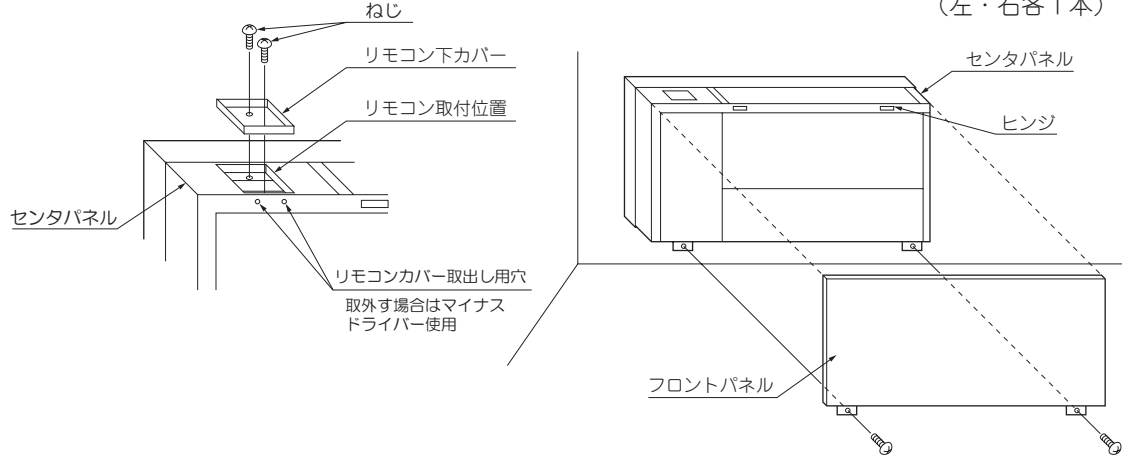
<p>③ ウォールスリーブの固定</p>	<p>型枠を取外した後、ウォールスリーブを室内より押し込み、スリーブのケースアングルと鉄筋を溶接し、確実に構造体に固定します。この場合、ウォールスリーブは、水平又は室外側に向け0～1度下傾斜（ドレン室内取りの場合）にて取付けてください。（前後、左右の水平も確認してください。）</p> <p style="text-align: center;">ウォールスリーブを外壁に合わせる</p>
<p>④ シール</p>	<p>ウォールスリーブと壁の間をモルタルで埋め、外壁側（ウォールスリーブの周囲）に良質シール材を埋込み完全に雨水シールしてください。（上図をご覧ください。）</p> <p style="text-align: center;">シール材……………良質シーラント、コーキング等 （チオコール系シーラント、ポリサルファイド系シーラント等）</p> <p style="text-align: center;">寸 法……………H10×D10（mm）</p> <p>ご注意 本体納入時までにはウォールスリーブより室内側へ風雨の侵入があってはならない場合はふさぎ板（現場手配、鉄板及びビニール等のテープ貼りでも良い。）で雨仕舞ってください。</p>

② スリーブガラリの取付け

<p>① 取付前に</p>	<p>①スリーブガラリの止め金のビス（1箇所）を取外して止め金を90度回転させてください。（3箇所共）</p> <p>②ワイヤー（付属品）を利用し、スリーブガラリの落下を防止してください。（スリーブガラリ取付後、ワイヤーを取外してください。）</p>
-------------------	---

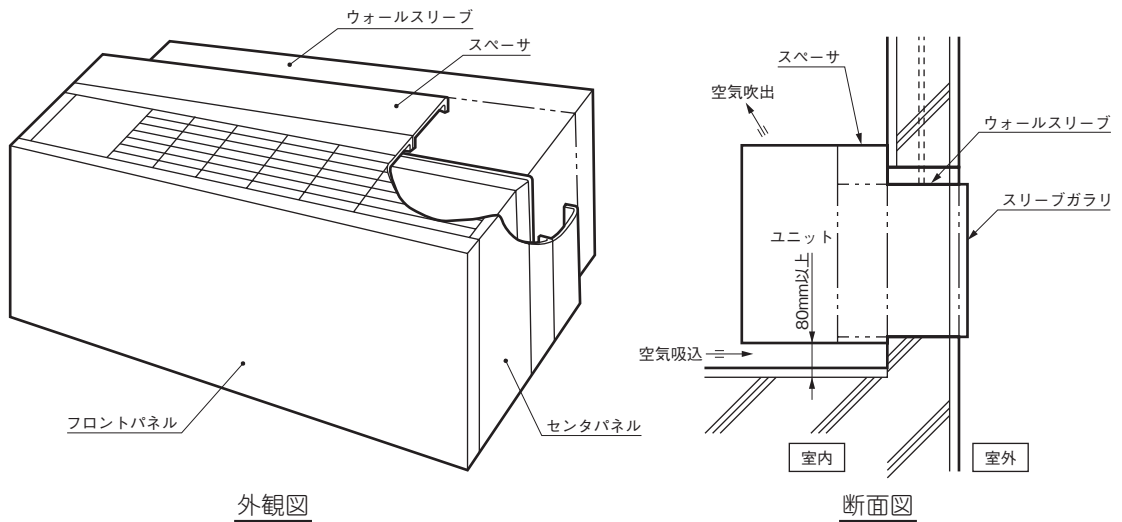
⑥ フロントパネルの取付け

- フロントパネルは下図のようにセンタパネル，フロントパネルの順で本体に取付けてください。
1. リモコンをセンタパネルに設置する場合は，前もってリモコンを取付けておいてください。
 2. センタパネルを本体上方からはめ込み前方から本体にねじ止めします。（左・右各3本）
 3. 次にフロントパネルをセンタパネルのヒンジに引っ掛け前方からセンタパネルにねじ止めします。（左・右各1本）



⑦ スペーサ併用

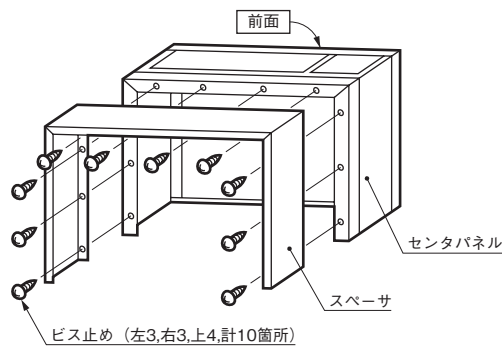
スペーサを使用した場合の取付け方法



外観図

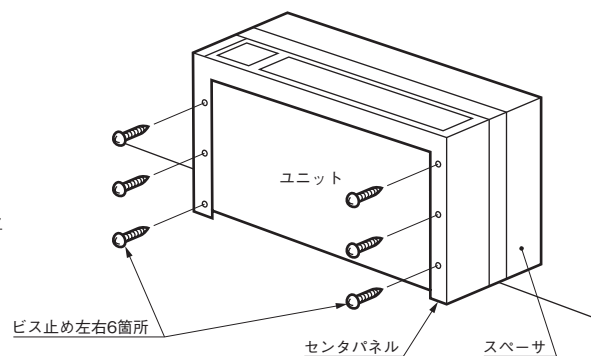
断面図

1. センタパネルとスペーサの一体化



スペーサをセンタパネル後方へビス止めし，センタパネルと一体化させます。

2. フロントパネルの取付け



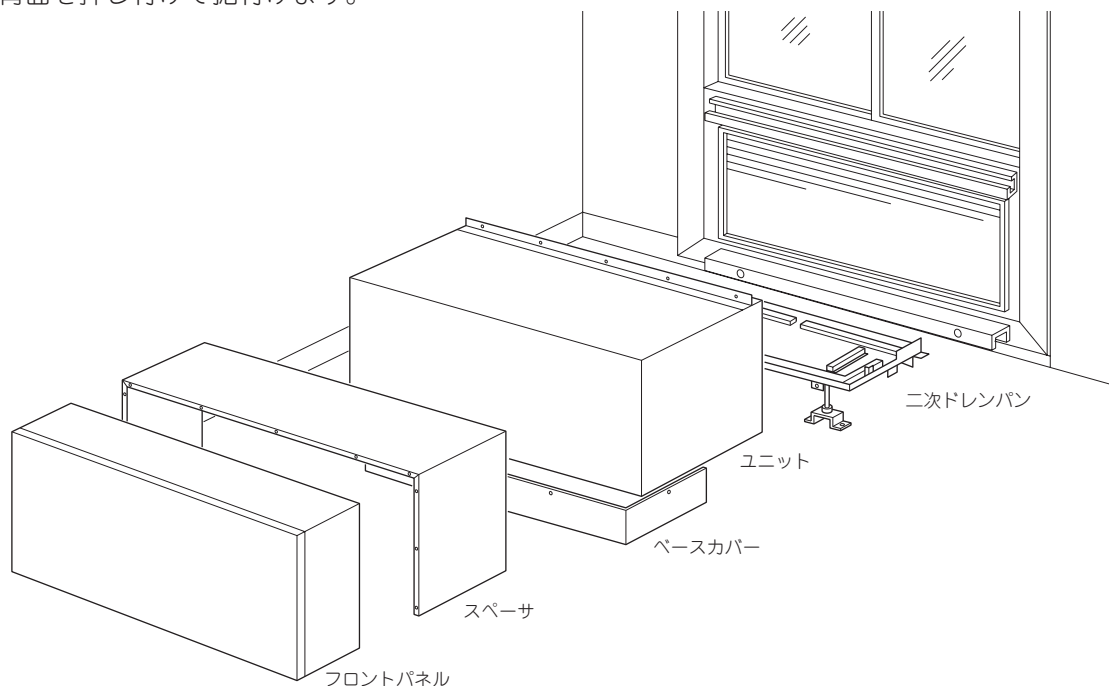
(b) ウォールスルータイプ（窓サッシ形）

(i) ユニット・部品

- ① ユニット：WTP254HKU, 364HKU, 254HU, 364HU, 254HKUF, 364HKUF, 254HUF, 364HUF
- ② オプション部品：フロントパネル
- ③ 客先手配品：二次ドレンパン、スペーサ、ベースカバー

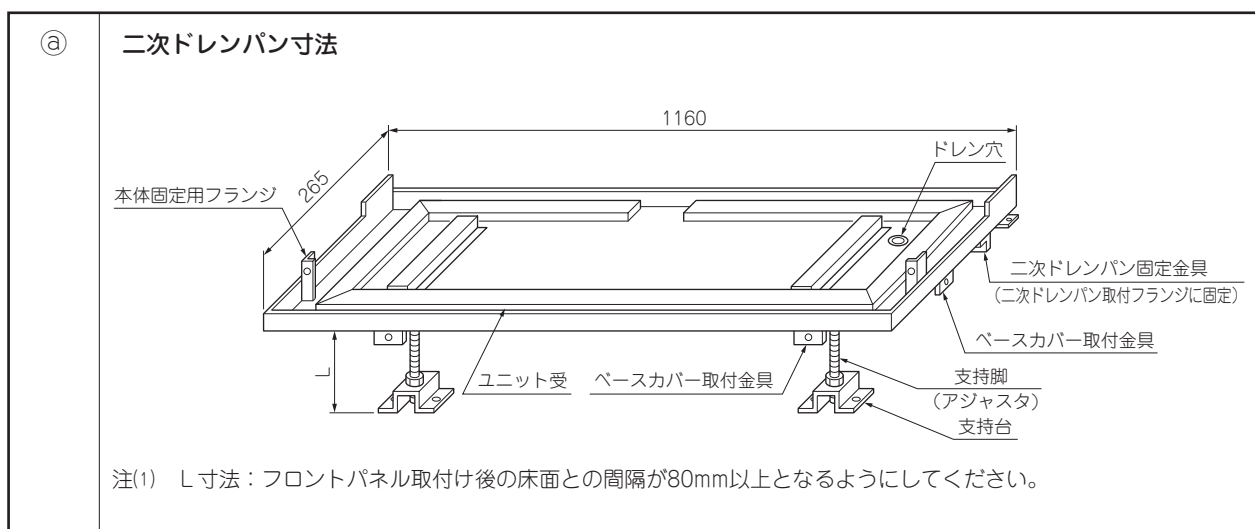
(ii) 据付けの概要

ウォールスルータイプ（窓サッシ形）は二次ドレンパンに本体荷重を掛け、ネオプレンタイトゴム材に本機背面を押し付けて据付けます。



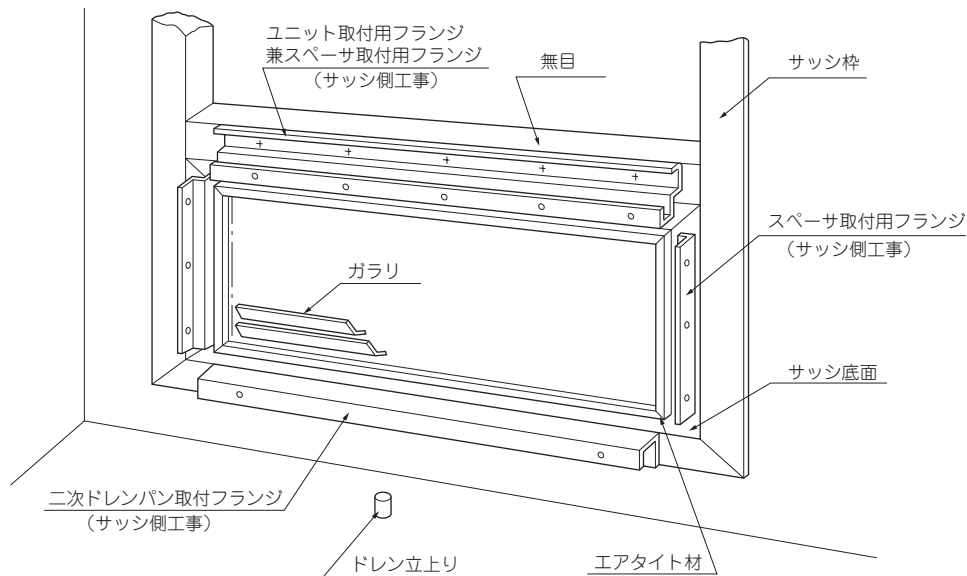
(iii) 据付手順

① 二次ドレンパンの取付け



② 取付用フランジ等の確認

二次ドレンパンを取付ける前に、排水パイプが所定の位置に立ち上がっていること、二次ドレンパン取付フランジ、エアタイト材等がサッシ側工事で確実に取付けられていること及び各種サッシ金具・エアタイト材等の位置・寸法を確認してください。

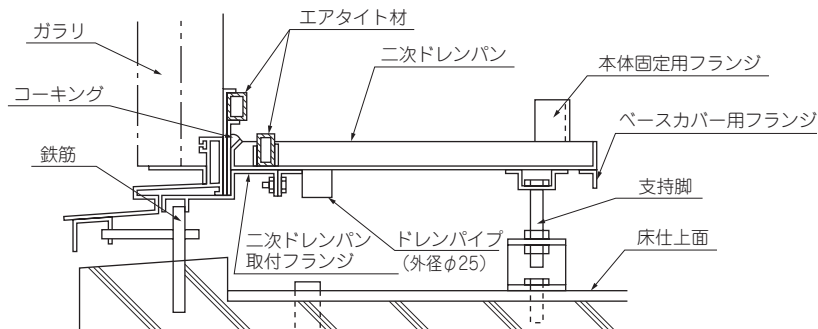


ご注意

標準工事としては二次ドレンパン取付は空調工事に含まれるのが一般的ですが、二次ドレンパン取付フランジ、ユニット取付用フランジ等の各種サッシ側フランジ及びタイト材の取付けは、サッシ側工事とします。しかし、現場により異なる工事範囲もあるので事前に建築図面により、確認してください。

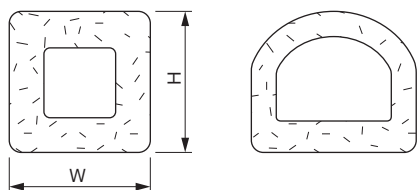
③ 二次ドレンパン取付け

二次ドレンパン取付フランジに二次ドレンパンを乗せてボルト止めし、支持足の高さを調節した後、ダブルナットを締め、確実に固定してください。
支持足と床面との固定はホールインアンカーで行います。
次にサッシと二次ドレンパンの隙間をコーキング材でシールしてください。



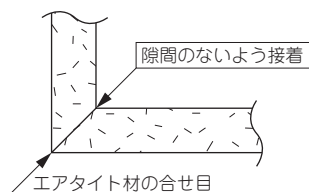
参考 エアタイト材 (材質：ネオプレンスポンジゴム)

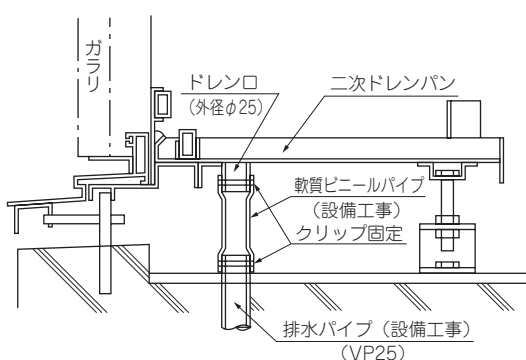
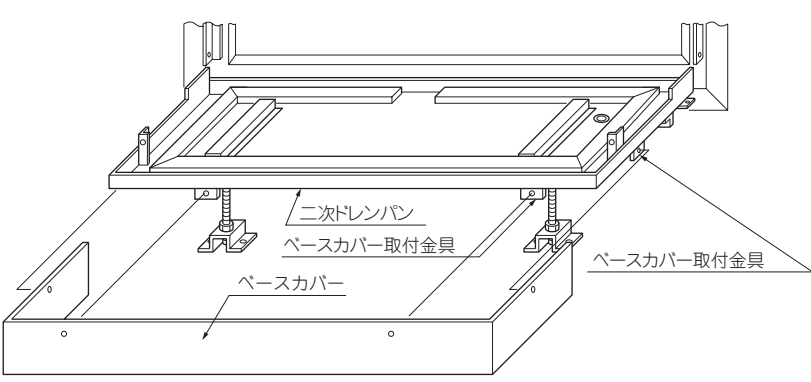
(形状)



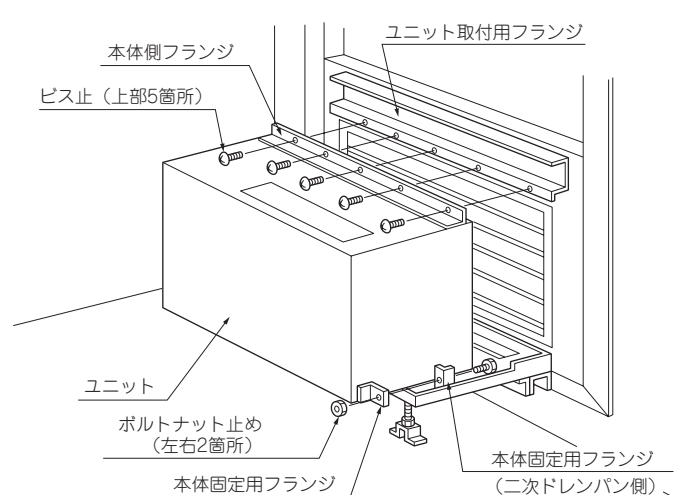
注(1) W : 25~35mm H : 18~30mm

注(1) エアタイト材の合せ目は隙間のないようにし接着してください。



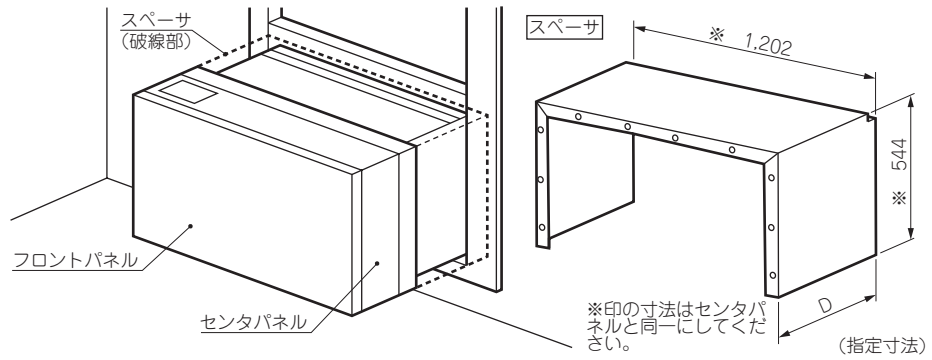
<p>④</p> <p>ドレン接続</p>	<p>二次ドレンパン下部のドレン口と排水パイプを軟質ビニールパイプ等で接続します。接続が不適ですと、漏水しますので十分に注意をして行ってください。</p> 
<p>⑤</p> <p>ベースカバー取付け(現地手配)</p>	<p>二次ドレンパン下部の化粧が必要な場合は、下図のようにベースカバーを取付けてください。</p> 

② ユニット・フロントパネルの取付け

<p>③</p> <p>本体の取付け</p>	<p>ユニットを二次ドレンパンに乗せて、サッシガラリ側に押し付け、サッシ上部及び二次ドレンパンへ仮止めしてください。 (この時ユニットの重量は二次ドレンパンにかかり、支持脚を通して床面で支えられます。)</p>  <p>ご注意</p> <p>ガラリ周囲部分のエアタイト材とユニットが完全に密着することを確認しながら、ボルト締め、ピス止めを行ってください。エアタイト材との密着が不完全ですと、気密性能や水密性能に影響がありますから確実に行ってください。</p>
------------------------	--

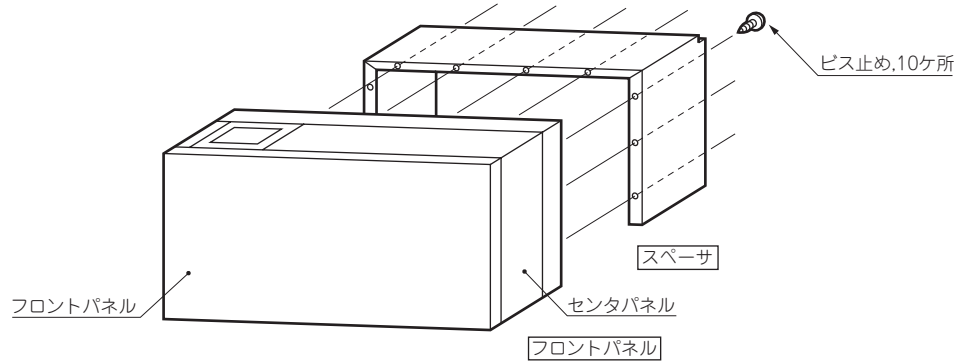
⑥
スペーサ

ウォールスルータイプ（窓サッシ形）据付けの場合、フロントパネル後方から、サッシまでの間の化粧パネルとしてスペーサが必要となります。（スペーサは一般的に空調工事範囲に含まれます。）



⑦
スペーサ・センタパネル一体化

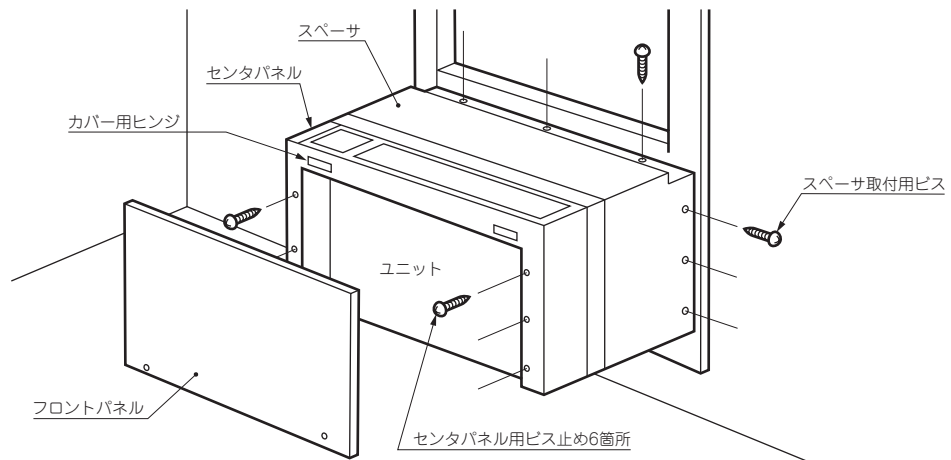
スペーサは、フロントパネル取付け前に、センタパネル後方にビス止めしてセンタパネルと一体化させます。



⑧
取付け

フロントパネルの取付けは、一旦フロントパネル、センタパネルを分離し、一体化したセンタパネルとスペーサをユニットにビス止めし、その後、フロントパネルを固定します。
スペーサのサッシ側への固定は必要に応じ、スペーサ取付用フランジ（59ページ・⑥項をご覧ください。）へビス止めしてください。

注(1) リモコンをセンタパネルに設置する場合は、前もってリモコンを取付けておいてください。

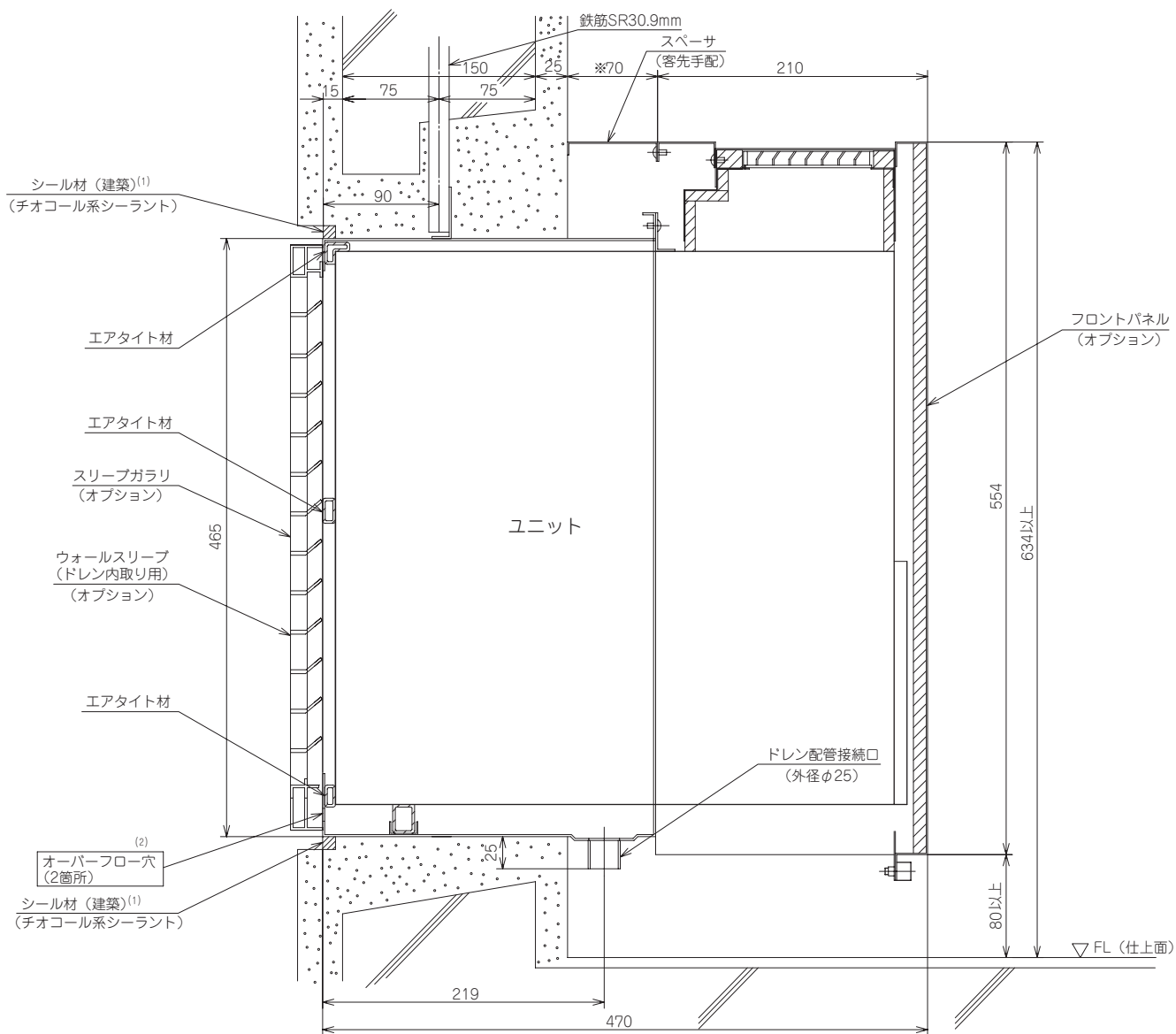


(4) 据付例 (参考)

(a) ウォールスルータイプ (壁埋込形)

(i) RC, SRC 構造の建物の場合

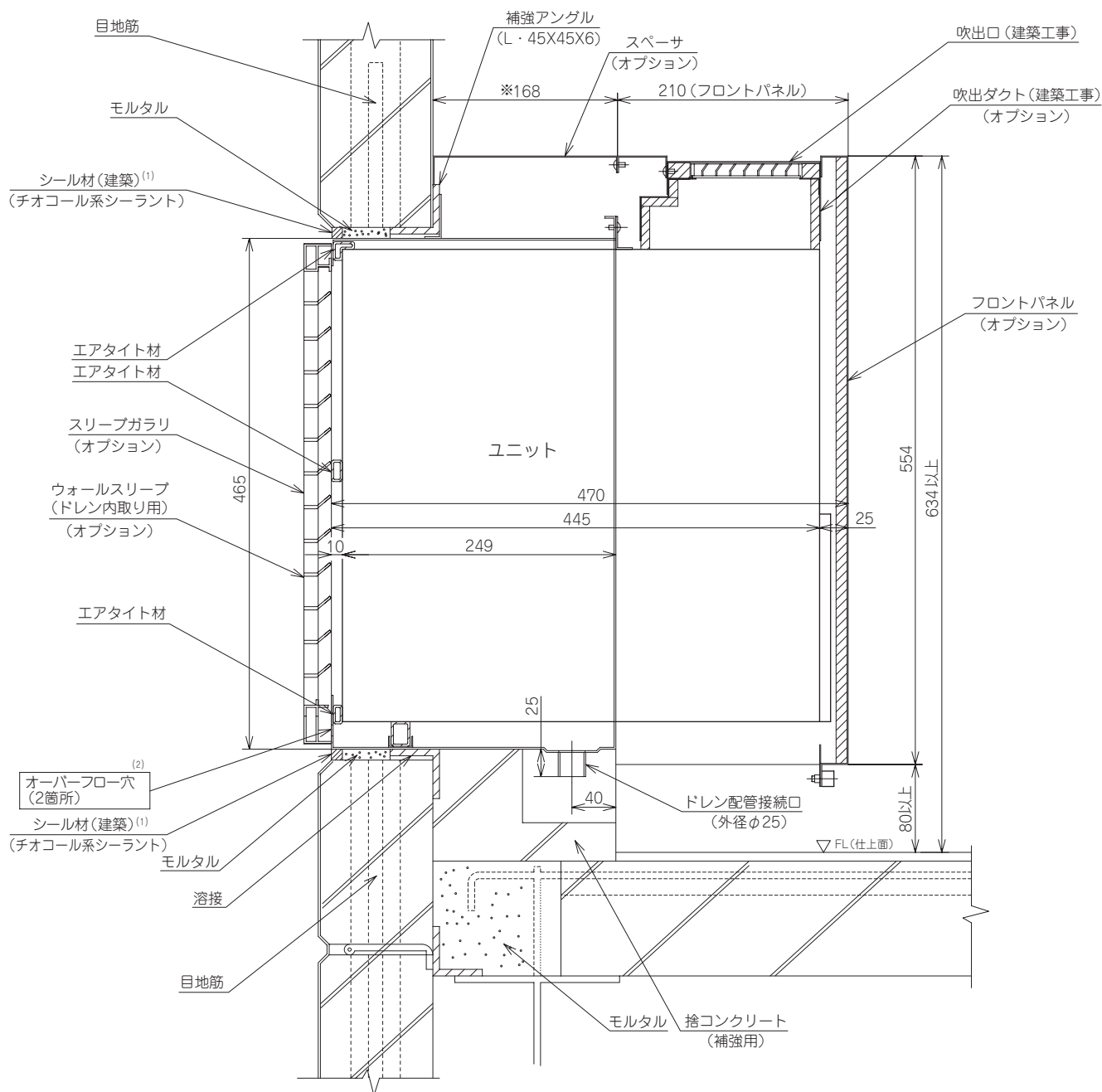
据付断面図



- 注 (1) シール材はスリーブと建物 (構造体) 間をシールしてください。
 (2) ウォールスリーブ背面下部にオーバーフロー穴 (2箇所) があります。絶対塞がない納まりとしてください。
 (3) ドレン配管 (建物側) 及びドレン配管とドレン配管接続口 (ユニット側) 間の継手は設備工事範囲です。
 (4) 建物及び※印の寸法は現場により異なります。

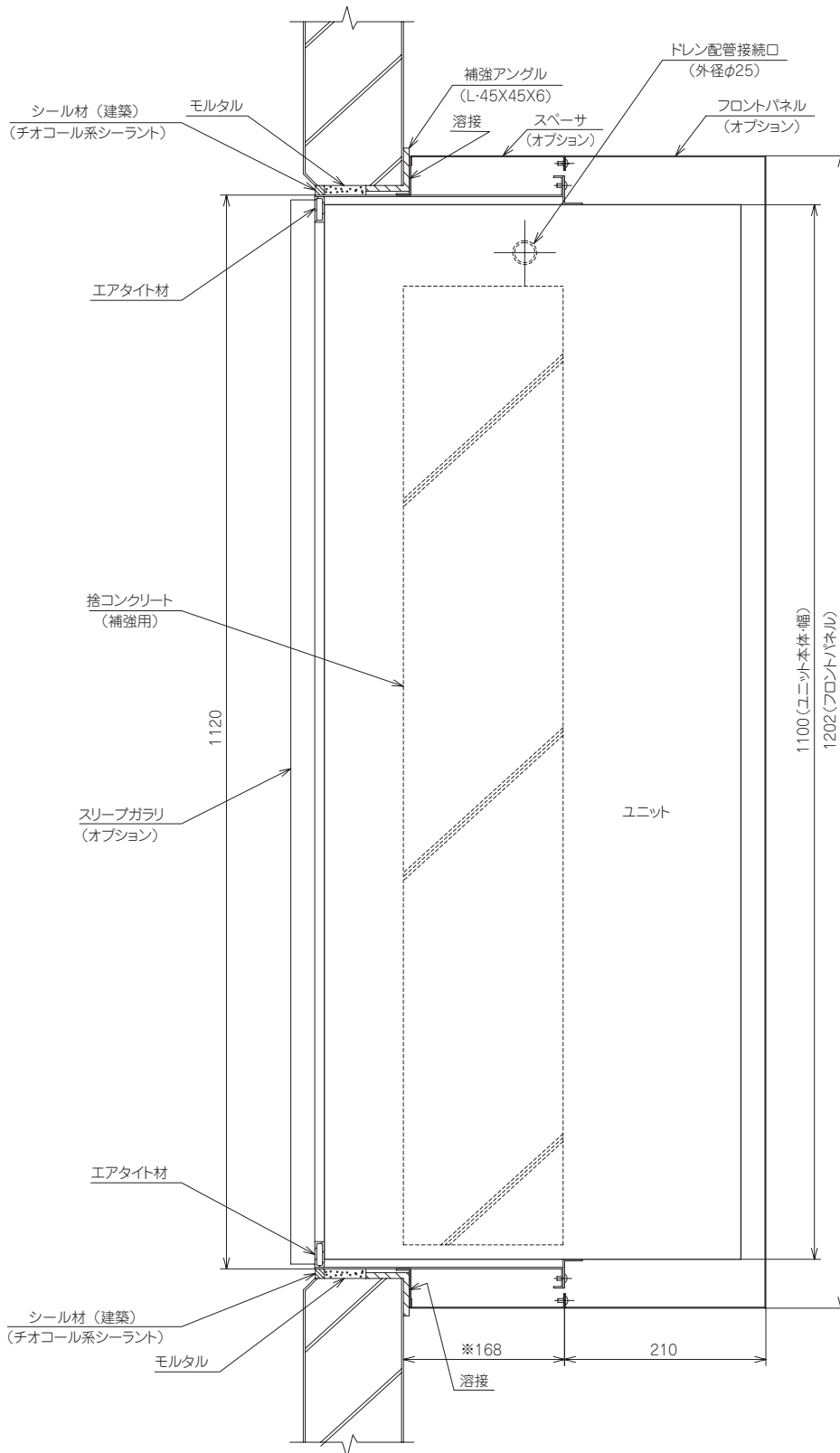
(ii) ALC 構造の建物の場合

据付断面図



- 注(1) シール材はスリーブと建物（構造体）間をシールしてください。
 (2) ウォールスリーブ背面下部にオーバーフロー穴（2箇所）があります。絶対塞がない納まりとしてください。
 (3) ドレン配管（建物側）及びドレン配管とドレン配管接続口（ユニット側）間の継手は設備工事範囲です。
 (4) 建物及び※印の寸法は現場により異なります。

据付横断面図

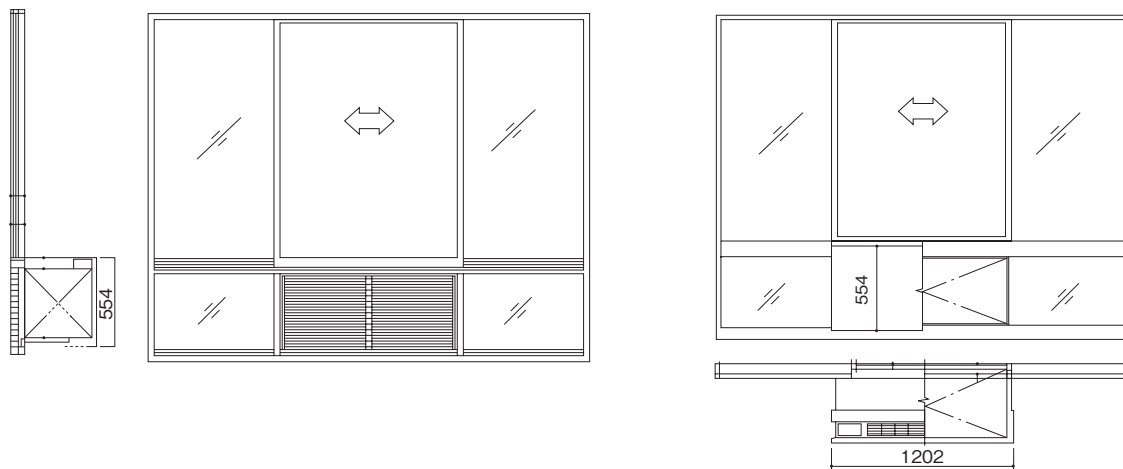


注(1) 建物及び※印の寸法は現場により異なります。

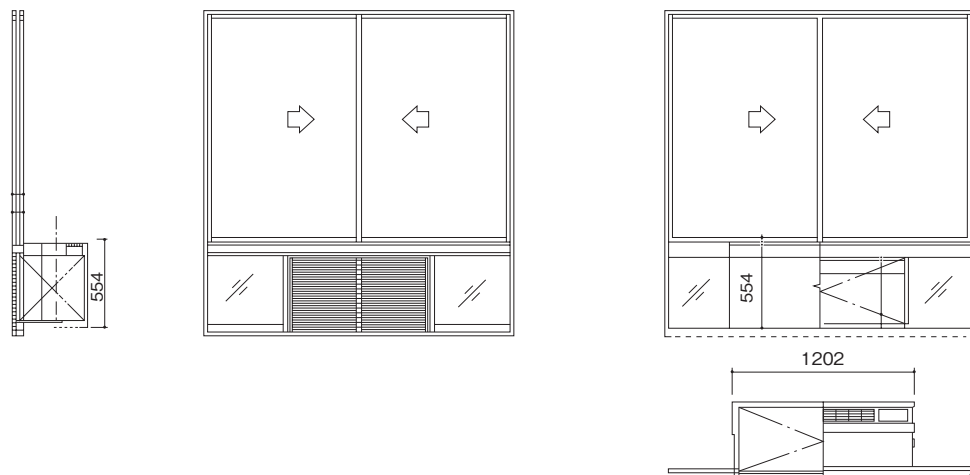
(b) ウォールスルータイプ (窓サッシ形)

(i) サッシの種類別据付例

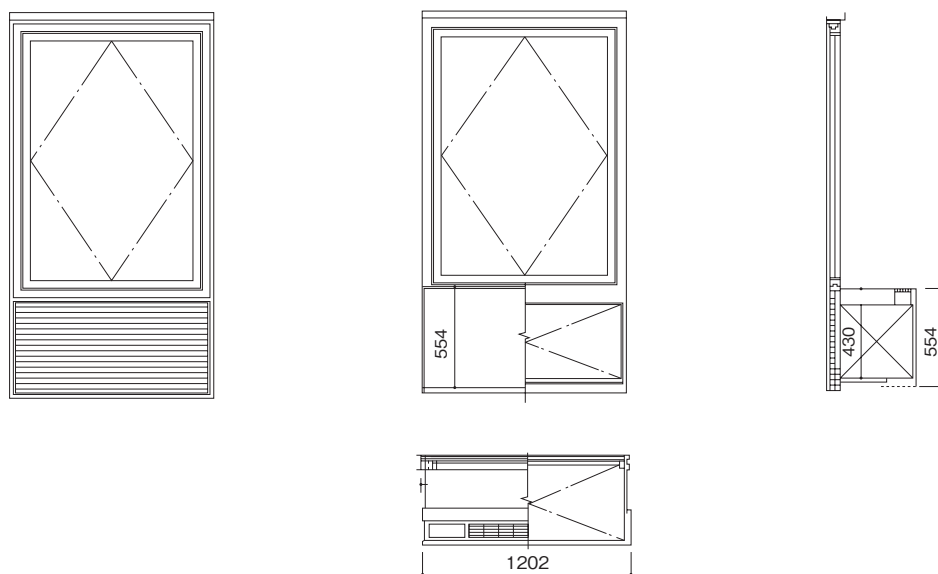
① 片引窓



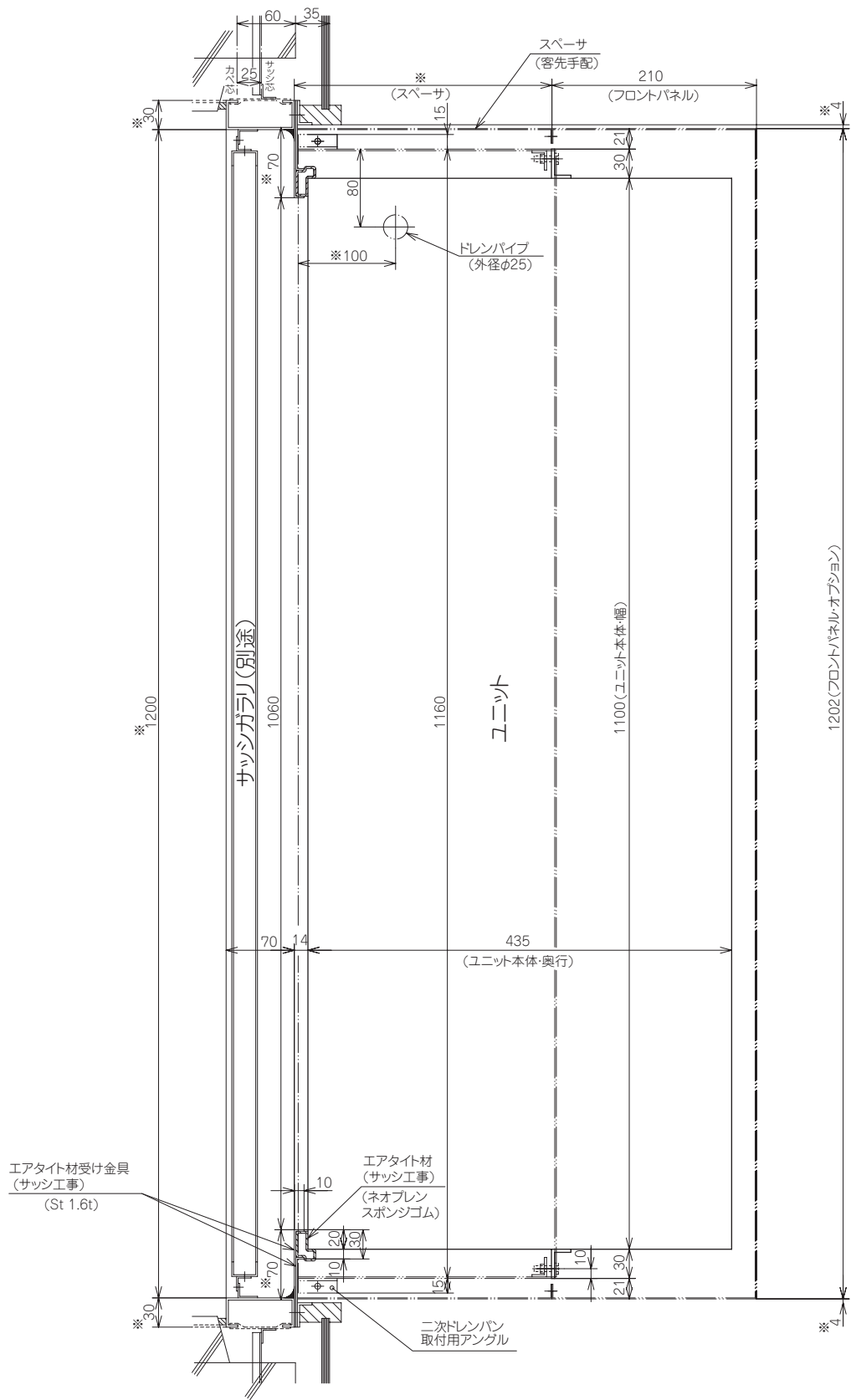
② 引違い窓



③ 堅軸回転窓



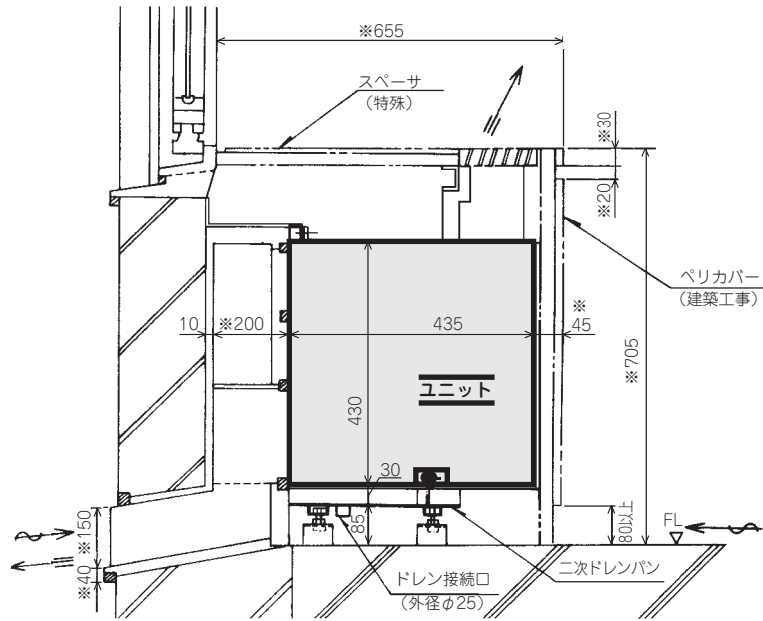
据付横断面図



注(1) 建物及び※印の寸法は現場により異なります。

② ダクト方式

据付断面図



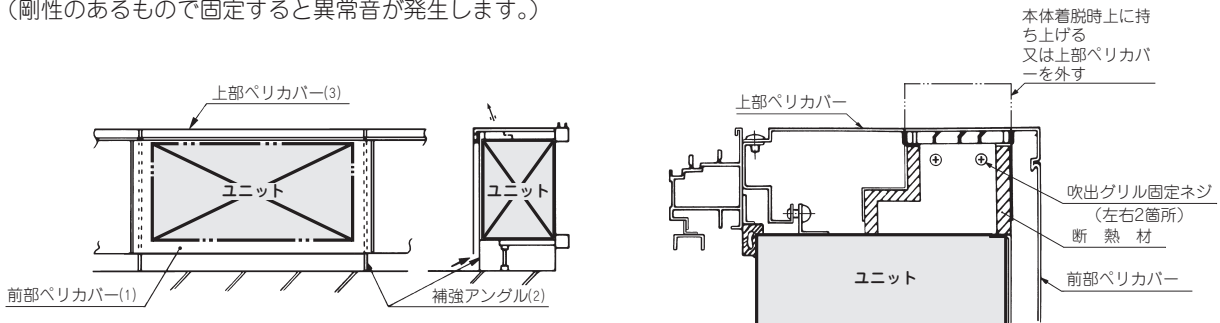
注(1) 建物及び※印の寸法は現場により異なります。

2.8 ペリカバー(フロントパネル)設計上の注意点

現地でペリカバー(フロントパネル)を製作する場合は下記の注意点を織り込んで設計・製作・取付けしてください。

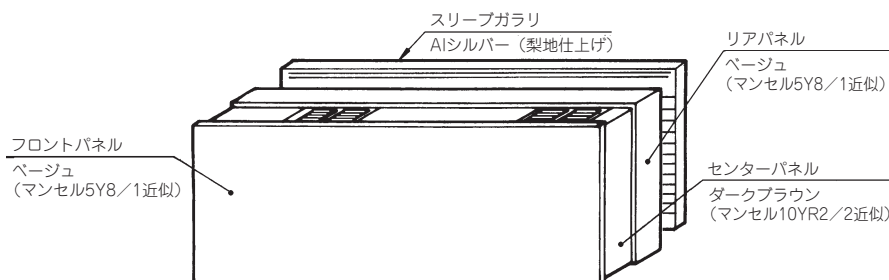
設計上の注意点

- (1) 吹出面積は 0.088m^2 ⁽¹⁾ (吹出口・レジスタの開口率は不含)としてください。
注(1) 吹出口・レジスタの開口率は0.8以上としてください。
〔有効吹出口面積 $\geq 0.0704\text{m}^2$ ($0.088\text{m}^2 \times 0.8=0.0704\text{m}^2$)〕
- (2) ユニットとペリカバーを継ぐ吹出ダクトは必ず断熱してください。(ダクト表面への結露防止)
またユニットとペリカバー間は必ず遮風してください。
- (3) ユニットとペリカバーは金属等剛性のあるもので固定しないでください。(下図をご覧ください。)
(剛性のあるもので固定すると異常音が発生します。)



- 注(1) ペリカバーはユニットの取外し、フィルタ取出しのできるよう容易に着脱できる構造としてください。
- (2) 補強アングルは本体に取付けないでください。
- (3) 補強アングルはユニットの取付け、取外しに支障のない位置に取付けてください。

2.9 塗 装 色



3.3 据付関連事項

(1) 電気配線

- 電気工事は必ず電気工事士の資格を得た人が行ってください。
- 電源は専用の分岐回路からとってください。またD種接地工事を必ず行ってください。
- 接続配線は電気設備技術基準にしたがって行ってください。
- 電源太さ、配線用しゃ断器の選定については、下表をご覧ください。
- 電源線・アース線およびリモコン線の接続は、電装箱の蓋を外し、端子台の番号に合わせて接続してください。
- 端子台の端子には3本以上の配線を接続しないでください。また接続には必ず丸形圧着端子を使用してください。
- 衝撃波不動作形漏電しゃ断器の取付けが必要です。漏電しゃ断器が取付けられていないと、感電や火災の原因になることがあります。

電源配線仕様

単相機 端子台 (L1) (L2) 200V

三相機 端子台 (R) (S) (T) 200V

ACWPシリーズ

形式	項目	電源電線の太さ (φ mm)	電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	アース線	
					開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		最小太さ (φ mm)	ネジ呼び
ACWP254HKT, HKMT	単相	φ 2.0	1.3	20A,30mA 0.1sec以下	30	20	20	φ 1.6	M5
ACWP254HK, HKM									
ACWP404HKT, HKMT									
ACWP404HK, HKM									
ACWP254HT, HMT	三相	φ 1.6	1.3	15A,20mA 0.1sec以下	15	15	15	φ 1.6	M5
ACWP254H, HM									
ACWP404HT, HMT									
ACWP404H, HM									

注(1) 表中の配線太さは配線こう長20m、電圧降下2%以内とした場合を示します。

WTPシリーズ

形式	項目	電源電線の太さ (φ mm)	電源容量 (kVA)	漏電しゃ断器 定格容量	手元開閉器		配線用しゃ断器 定格電流(A)	アース線	
					開閉器容量(A)	B種ヒューズ(A)		最小太さ (φ mm)	ネジ呼び
WTP254HK,HKF	単相	φ 2.0	1.8	20A,30mA 0.1sec以下	30	20	20	φ 1.6	M5
WTP254HKU,HKUF									
WTP364HK,HKF									
WTP364HKU,HKUF									
WTP254H,HF	三相	φ 1.6	2.0	15A,20mA 0.1sec以下	15	15	15	φ 1.6	M5
WTP254HU,HUF									
WTP364H,HF									
WTP364HU,HUF									

注(1) 表中の配線太さは配線こう長20m、電圧降下2%以内とした場合を示します。

電源配線接続要領

